

地域連携推進会議 議事録

開催日時	令和 8 年 3 月 5 日 木曜日 10:20 ~ 11:20
開催場所	障害者支援施設ひかり園 1階相談室
構成員	施設職員 4名（施設長、副施設長、サービス管理責任者、主任） 利用者 1名 利用者ご家族 1名（PT会々長） 地域関係者 1名（田甲地区区長） 市町村担当職員 1名（吉見町長寿福祉課主任） 福祉に知見を有する方 1名（同法人・常磐苑副施設長）
議題	1. 開会 2. 施設長挨拶 3. 出席者紹介 4. 地域連携推進会議の趣旨 5. ひかり園の概要 6. 施設見学 7. 感想や意見 8. 閉会
協議内容 意見等	1. 2. 3. 略 4. 地域連携推進会議の趣旨 会議の趣旨、会議義務化の背景、会議の目的について説明を行った。 ・会議の趣旨 地域との協働を通じ、より質の高い障害福祉サービスの提供を目指す。 ・会議義務化の背景 事業運営の透明性確保、地域共生社会の推進、防災・虐待防止の観点強化。 ・会議の目的 外部構成員を含む定期的な会議開催により、閉鎖的な運営の防止、不適切支援や虐待の発生防止、利用者の権利保護、地域住民との協働、行政との連携強化、災害時の要配慮者支援、障害者施設での虐待防止を図る。 5. ひかり園の概要 ・現在実施している事業内容（生活介護、就労継続支援 B 型、施設入所支援）の説明を行った。なお利用者の高齢化・重度化に伴い、日中活動においては4月から就労継続支援 B 型は廃止し、生活介護単独での運営となることを連絡した。 ・現在の利用者 58 名の男女構成、年齢層、障害支援区分の状況等についての説明を行った。 ・地域交流に関しては、野菜販売の他、同法人の吉見学園と合同で開催する学

園まつり(新型コロナウイルスの影響を受け現在は中止)を通して地域の方々と交流していたが、機会は減少している。田甲地区の文化祭や吉見町社会福祉協議会主催の福祉まつりには参加しており、今後も地域との関わりを深めていきたい考えであることを伝えた。

6. 略

7. 感想や意見

- ・施設見学後の意見交換会では、利用者が元気で楽しそうに生活している印象を受けたとの意見があった。その他、施設の老朽化対策、安全性向上策、高齢者向けのバリアフリーなどの対策が課題として挙げられた。
- ・就労継続支援B型事業の廃止や野菜栽培事業の縮小について説明した。
- ・職員と利用者の食事場所等について質問があった。新型コロナウイルスの流行に伴い、利用者は2部制に分かれて食事をしており現在もその方法を継続して行っている。また、職員から利用者への感染リスクを減らすため、職員は利用者とは別のタイミングと場所で食事をとっていることを説明した。
- ・施設と地域住民の方々との交流の場や機会について議論を行った。また、地域との連携が重要であり、地域住民からのサポートが利用者の安全確保に繋がっていることを共有した。
- ・利用者からの希望として外出機会の増加が望まれており、施設としては感染症対策をとった上で少人数での外出機会を増やす努力を行っていく。
- ・吉見町でウェルシアの移動販売が行われているという情報を教えて頂く。移動販売車は利用者が減少すると存続が危ぶまれたり、より需要のある販売場所に場所を変えたりするとの話がある。田甲地区では毎週火曜日の15時10分に田甲集会所に移動販売車が来るため、ひかり園の利用者が利用してみるのも良いのではないかと話があった。

8. 略

※その他

会議後、施設で提供している昼食を用意し、都合がついた4名の方に召し上がっていただいた。「しっかり味があるし良いね」「美味しい」と感想を頂いた。

————— 以上 —————

協議内容
意見等